



2019年8月には家の周囲の農園を舞台に、初めての農村フェスを企画し、主催開催しました。初めは多くの不安を抱えてスタートしたイベント企画でしたと語る高橋さんですが、本番当日は地元の方々をはじめ行政職員や県内外からのボランティアスタッフや友達からのサポートを受け、雨にも関わらず多くの来場者にも恵まれ、大成功に終わったイベントになりました。野外ステージでの音楽あり、出店屋台が並び、広い農園の各所で遊びや冒険が楽しめる、いつもは静まり返って寂しい集落が、若者たちや多くのファミリーたちで賑わい、元氣な新しい農村が生まれた奇跡の2日間になりました。

高橋さんの将来の夢は大きく、しっかりと先を見つめています。この立地で農園を展開させていき、ここで野菜販売や加工品を製造販売ができるようにして、来てくれたお客さんがコーヒーを飲みながら寛げる場所にしていきたい。そして、この家と農園を含めたこのエリアを家族連れで遊べるレジャーランドにしたい、と目を輝かせて語る高橋さんは、しっかりとこの地に根付き、昔から続く農園を受け継いでいく定住者の姿でした。これからも幸せな楽しい家族生活

を送りながら、この刺巻の地に素敵な楽園を造ってほしいと期待が高まります。



炭火で焼いたイワナ!うまい!!



とても人気のあった巨大シャボン玉



ツリークライミングでドキドキ



村の神社も遊び場になる



出店も会場の演出もみんなで力を合わせて手作り

あきくら3

「とある村物語」農園イトナミ
高橋佐門

Takahashi Samon

豊かな自然と遊ぶ、
地域仲間の絆

山々を背景に緩やかな傾斜地に連なる田畑を一望できる少し高台の一軒家。この景観、この立地、この住環境に魅了され移住を決めたとのこと。

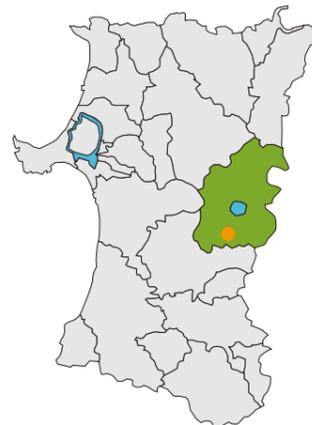
高橋佐門さんは3年間日本全国を旅してまわり、沖繩にもしばらく暮らしたこともあり、デザイン業から林業、そして農業と仕事の経験を積むうちに、行きついたこの場所に、自分の居場所を見つけられました。

移住後に本格的に農業研修を受け、移住先の近くに農地を借りて農園をスタートさせ、今年で農園開業3年目となりました。地元農家の方々との交流を深めながら野菜栽培に取り組み、さらには、高橋さんの人柄から野菜の出荷先にも恵まれ、生産農家として着実に歩んでいます。

高橋さんの育てた野菜たちは新鮮そのもの！自然とのかかわりを大切にする高橋さんの農業へのこだわりは、その野菜栽培のスタイルにも見られます。沢山の自然のイトナミの中で無農薬栽培や有機質肥料の活用にご

わり、自然由来の土で、じっくり本物の野菜を育てる。そんな手間暇をかけた美味しさがギュッと詰まった野菜づくりを心掛けているのです。

仙北市刺巻



「とある村」の夏休みの一場面
里山を背景に、MUSIC LIVEで盛り上がります。

